

令和7年8月役員会便り

理事会と同時開催なので、理事会欄に掲載の理事会議事録速報と同一内容です。

開催日時・開催場所・出席者

開催日時	令和7年8月23日午後4時00分～		開催場所	ブリックアンドウッドクラブ
出席者 <small>(敬称略・議長以外各50音順)</small>	取締役兼理事 11名	議場 木内(副理事長)、加藤、北島、草深、塩田、中川、 リモート 熊木(上西氏の代理)、生木、村岡 欠席 田井(理事長、木内氏に委任)、橋本		以上 9名出席
リモート参加も議決権を有す。 委任は理事会のみ	取締役(非理事) 2名	議場 片岡、村瀬 リモート 無し 欠席 無し		以上 2名出席
	執行役員兼理事 1名	議場 無し リモート 野村 欠席 無し		以上 1名出席
	最高顧問兼理事 1名	議場 坂 欠席 無し		以上 1名出席
	以上 理事13名 取締役13名	委任状、代理を含め合計12名出席 委任状、代理を含め合計12名出席		
	監査役兼監事2名	議場 角川 リモート 無し 欠席 高橋		以上 1名出席
傍聴	理事でない執行役員2名	議場 篠本、雪 リモート		以上 2名出席
	MFC管理組合	議場 出席無し		出席0名
	事務局	議場 松本		以上 1名出席
	その他	議場 関根 リモート 無し		以上 1名出席

理事会は議事を行うための定足数を充足、取締役会も議決を行うための定足数を充足。

議題

理事会

1. 委員会報告

① 競技委員会(加藤委員長)

・添付資料に基づいて報告がなされた。内容は、①8月に開催された平日月例会と月例会の結果についての報告、②9月に開催を予定しているクラブ競技の案内、③外部の対抗競技戦へのエントリー状況について、男子は9月に米原で行なわれる Three Generations 対抗戦に、女子は11月に中山カントリーで行なわれるレディース会クラブにそれぞれ参加予定であることの報告、の3点。

・一部の女性メンバーより、5番ホールの赤杭を延長して欲しい、との要望があり、管理課に諮ったところ「OK」との回答を得られたため近々にも実行する予定。ご承知置き願う。

② クラブライフ委員会(熊木副委員長)

・添付資料に基づき、主催イベント(イエール大学コンサート、プールサイドの夕べ)の実施報告と、今後のイベント(ガゼボナイトとクリスマスカップ)の準備状況について報告があった。ガゼボナイトについては、昨年の参加者が少なかったこともあり、「各委員会での情宣」が呼びかけられた。

③ グリーン委員会（北島委員長）

本今朝に行なわれた管理課とのミーティングでの議論について、以下の通り報告があった。

- ・散水と刈込みを中心に、少しでも良好なコース状況を維持する為、酷暑の中、可能な限りの対応をしているところ。

- ・バンカーの雑草取りボランティアについて。6月にグリーン委員会メンバーで実施したが、9月にもう一度実施したいと考えており。他の委員会にもお声掛けすることを考えている。文書を作成の上、お送りさせて頂くので積極的な参加呼びかけをお願いしたい。14時もしくは15時頃開始、1時間半程度のイメージ。管理課メンバーでアブに刺され、アレルギーも相俟って重症化したケースが発生。そこから派生して、怪我人・急病人や、雷等の自然災害発生等、緊急時の危機対応が話題となった旨が報告された。

- ・上記に関連して、事務局に対し、①救急車がコースのどこまで入れるのか、②雷発生時のプレー中止の伝達や退避の方法はどうなっているか、との質問がなされた。

→インコースは14番にまで救急車が入ったことがある。アウトコースは4番5番辺りまで入れると思われるが、車体の大きさの近いハイエースで実際に確認してみようと思う。雷については、マスター室で状況を確認、判断した上で、カートで出張って行って直接呼びかけを行なうこととしている。(by 雪氏)

④ 広報委員会（野村委員長）

- ・News Letter 夏号を納品済み。近々お手許に届くと思われる。次回委員会は9/9に開催予定。

⑤ ジュニア委員会（草深委員長）

- ・8/18(月)に開催されたジュニアレッスン会について報告あり。今回は22名が参加し盛会であった由。

⑥ ハンディキャップ委員会（中川委員長）

- ・半期ごとに行なっているハンディ増の査定の実施について言及があった。

⑦ フェロシップ委員会（塩田委員長）

- ・7/25に実施した歴代委員長会、7/29に実施した月例の委員会、8/3の実施したグリーン委との合同の男女対抗戦のそれぞれについて報告がなされた。

- ・今後の予定として、翌週に「イケてるツアー (to 軽井沢)」を実施すること、9/6にフェローコンペを実施することが報告された。

- ・委員会では、各委員会の存在感を上げるための情宣活動が必要ではないか、との意見が上がり、カレンダー手帳やホームページ等に委員会に関する記載や掲載を行なってはどうか、といった具体案が紹介された。

- ・ブルーリーフについて、盛り上げのために夏季に同エリアでのイベント（例えば盆踊りなど）を開催してはどうか、との意見が出された。

(→これに関連し、木内副理事長より「年会費引上げを見送った上で、来期売上に関してはメンバーとゲストで1千万円の増収を図ることとした。各委員会でイベントの開催を含めて企画・実行をお願いします。今後の委員会で論議し具体化してもらいたい。」との要請があった。)

2. 今後のメンバー募集体制について

木内副理事長より、次葉の添付別紙1の通り提案がなされ、議論の結果、異議無く了承された。木内副理事長からの補足説明とその場にて交された質疑応答の内容は以下の通り。

(説明)・視察プレーについては、毎月日程を定例化した上で、理事の皆さんに都合の良い日を申し出てもらうことを考えている。女性、黒ティー、ペット同伴等、相手に応じて臨機応変に対応して行きたい。

- ・これらのメンバー募集ルールは、扱い業者の関与の有無に関わらず、全員に適用する予定である。

(質疑)・入会プロセスに関するメンバーへのアナウンスは？→坂理事発出のメッセージと同時に出すことを予定。

- ・視察プレーは、コンペにご参加いただく形でも可能か？→「可」と考える。

2025年8月23日
理事会

今後のメンバー募集体制

- 7月26日付で株式会社コジローに割り当てた普通株18株、並行して退会希望者等からコジローに買い集めた株が普通株11株・優先株8株(8月18日現在)、合計普通株29株・優先株8株をもとに、募集を強化していく(メンバーによる相対での取引も継続)。このうち、普通株25株については、住地ゴルフをコジローおよび高滝の業務委託受任者として短期間で募集を実施する。全体では、2年で合計100口程度の新規メンバーを迎え、次の25年への基盤づくりを行う。
- 募集金額としては、現状普通会員250万円、家族会員350万円を目途に募集している。今後(9月以降入会プロセスに入るものを想定)以下のとおりとしたい。

会員種類	普通会員	家族会員
株価	1,200,000円	2,050,000
名義変更手数料	1,100,000円(税込み)	1,650,000円(税込み)
保証金	400,000円	400,000円
合計	2,700,000円	4,100,000円

- 入会までのプロセスを標準化し、きちんとした手続を行う(別紙参照)。入会に先立って、視察プレーを設けるとともに、入会申込書の他、履歴書・誓約書を取り付け、それらがそろった段階で審査プレー・面談審査を経て株式取得(取締役会承認)、入金をもって入会とする。
- 視察プレー：見込み客を視察プレーに誘引するのが重要。平日と土日祝それぞれ月2回ずつ設定し、理事が同伴する。視察プレーを行った場合には後日の審査プレーは免除する。プレーは9,400円。理事は無料とし、終了後ケーキセットを付ける。
- 審査：理事との面談後審査プレーを実施する。
- ガイダンス：入会后3カ月以内にガイダンスに参加することを義務付ける(月1回の定例化を想定)。

取締役会

開催日時 令和7年8月23日(土曜日) 午後4時～

開催場所 ブリックアンドウッドクラブ ラウンジ中二階 今回も理事会と同時開催。
リモート参加を可能とし、リモート参加者も出席者として議決権を有する。

議題

議決事項

(1) 株式譲渡承認について

株種類	譲受人	譲渡人	備考 (金額は税込・敬称略)
優先株	山崎 良子	(株)コジロー	名変料 132 万円。紹介者 松本社員
普通株	内藤 ゆりや	(株)コジロー	名変料 88 万円。紹介者 Stephane Lafai 様
優先株	磯部 佳百子	磯部 正博	夫婦間譲渡にて名変料無し。
普通株	茂呂田 祐二	茂呂田 紀美枝	親族間譲渡にて名変料無し。譲渡人はシニア会員へ移行。
普通株	野川 思華	(株)コジロー	名変料 88 万円。紹介者 白山敬二様
優先株	野村 友成	(株)コジロー	名変料 132 万円。紹介者 松本社員
普通株	(合)T&A	(株)コジロー	登録メンバーは渡邊芳邦様。名変料 88 万円。紹介者 小高芳宗様
普通株	鈴木 寿臣	(株)コジロー	名変料 88 万円。
普通株	黄金 公一	(株)コジロー	コジロー会よりメンバーへ。名変料 88 万円。紹介者 滝本雄一様
普通株	森谷 裕子	(株)コジロー	名変料 88 万円。紹介者 新田見華子様・古溝敦子様

(2) 転根抵当権等解除のための株式会社コジロー増資引受

- ・村瀬取締役より、末葉の添付別紙2の通り提案がなされた。
- ・コジロー社に対して設定された根抵当を基に設定された転根抵当権を解消する意義については、「身ぎれいな体質になることで、将来的に金融機関との取引がやりやすくなるようにするため。」との説明があった。
- ・「実際の債務については、一部を返済し、残りは引き続きとなるが、転根抵当権については、今後の相続発生等も見据えて、このタイミングで全て解消することを企図している。」との説明があった。

→以上二つの議決事項については、異議無く了承された。

報告・協議事項

(1) 最近のゴルフ場の売り上げ状況について

資料送付済

	本年7 月	前年	前年 比	内平日	前年 比	内土日祝	前年 比
営業日数(日)	30	30	±0	21	±0	9	±0
来場者数合計(人)	2,207	2,278	-71	1,178	+20	1,029	-91
内 M	1,124	1,257	-133	446	-59	811	-74
G	763	744	+19	480	+45	283	-26
V	85	103	-18	103	-18	0	±0

N	235	174	+61	226	+52	9	+9
ゴルフ場売上高 (万円)	2,167	2,136	+31	1,139	+94	1,028	-63

7月単月で見ると、ネットの来場者数が前月、前々月に続き前年同月比で大幅増となったものの、その一方でメンバーの来場者数が1割を超える減少（実数として133名）減少となったため、プレーフィーの引き上げによる増収効果が減殺され、ゴルフ場売上高は前年度対比31万円の微増にとどまった。

9月1日から7月末迄の今期11か月間のゴルフ場売上は26,751万円となり、これは前年同期間比284万円の減収。諸コストが上昇する中、来場者数の回復が喫緊の課題であることは議論の余地が無い。

8月1日から8月17日までのゴルフ場来場者数は、1,432名にて前年同日対比203名の増加。ゴルフ場売上は、1,373万円にて、前年同日対比274万円の増加となった。天候や土日の日数の影響もあるものの、単月の営業成績として、久しぶりの増加・増収が見込める状況となっている。

ブルーリーフの事業収支については、以下の通り。

2025年7月期 ブルーリーフ事業収支 すべて税抜き

	ホテル	レストラン	マーケット	合計	前月比
売上	315,385	3,984,452	295,795	4,595,632	-687,102
仕入原価		1,403,690	183,860	1,587,550	-45,564
粗利	315,385	2,580,762	111,935	3,008,082	-641,538
人件費				2,429,524	243,766
家賃	300,000	300,000		600,000	
消耗品	40,160	266,975	9,018	316,153	159,817
会費				0	0
水道光熱費	3,437	616	163,075	167,128	-7,953
通信費	9,500	0	7,000	16,500	-15,077
セコム	50,000	0	14,000	64,000	0
防犯カメラ				17,900	0
リクルート	1,566	12,390	0	13,956	-6,890
支払手数料		41,576	3,905	45,481	-27,613
レジ利用料		13,636	5,455	19,091	0
ソフトクリーム			30,200	30,200	0
経費合計	404,663	635,193	232,653	3,719,933	346,050
損益				-711,851	-987,588

(2) 最近月の入退会状況について

7月の入会は8口11名（合田様、斎田様、吉原様、大山様、岡部様、工藤様、柴山様、阿部様）だった。

8月の入会者は17日現在で8口10名（山崎様、内藤様、野川様、野村様、渡邊様、鈴木様、黄金様、森谷様）。これを含めると今期の入会者は32口42名となり、猛烈なラストスパートにより目標を達成することとなった。

→本件に関連して以下の議論があった。

・5月末、6月初め頃から、メンバー集めに奔走した。その結果を本日この場でお示しさせて頂く事が出来たと考えている。各委員長におかれても、一層の奮闘をお願いしたい。手紙を作成の上、お送りするので是非お読み頂き

たい。皆さんのお力の發揮に期待している。(坂最高顧問)

・現在抱えている問題は、30口という今期の目標が達成されたことをもって終われる訳ではない。600人と想定していた active member の数が目減りしている上に、来場頻度も低下している。計算上は、active member の総数を700~750人にまで引き上げる必要があると考えている。(木内社長)

・その一方で、メリハリの利いたクローズドクラブとしての性格を維持したいとの思いもある。そうした中で、どういうことを新メンバーに伝えていくか、を木内社長にまとめてもらっており、この続きで(理事会として)議論したい。(坂最高顧問)

・メンバー募集が必要という話を最近になるまでは余り聞かされておらず、正直理解が薄い面があったと思う。他方、ゲストや知り合いにお勧めするためには、グリーン、ティーイングエリア、カート道がもっと良い状態であることが必要だと感じている。(塩田取締役)

・コース整備とメンバー募集のどちらが先か、という話については、同時並行でいずれも進めていくことが必要だと考えている。(木内社長)

・コミュニティの開発を進めたことで、ここ数年は(メンバー募集目標の)半分くらいがそれによって埋まる状況があり、切迫感が薄かったように思う。このタイミングで今一度締め直して意識を高めることが必要と思う。(坂最高顧問)

(→理事会議事録2.の「今後のメンバー募集体制について」に続く。)

(3) ブルーリーフの事業について

ブルーリーフの営業状況について特に報告すべき点が有れば報告。→特に無し。

(4) コースの状況について

グリーン委員会の報告に加え特に報告すべき点が有れば報告。→特に無し。

(5) その他 →特に無し。

→上記(1)から(5)について報告を受け、協議の結果了承した。

以上

2025年8月23日

取締役会決議事項

議案 転根抵当権等解除のための株式会社コジロー増資引受

1 経緯

- (1) 株式会社コジロー(以下「K社」という)は株式会社高滝リンクス(以下「T社」という)の再生等ために設立された会社。これまで行った主たる内容は
- ① 金融機関債権の買取(一部債務免除目的) ② T社株式の買取 ③ T社への資金支援
- (2) 本年7月の臨時株主総会及び取締役会決議の結果、K社帳簿上のT社への貸付債権は概ね解消された(T社の帳簿には約1億8,000万円の借入残高計上)が、K社には個人株主からの借入が3,350万円残っている。本件金額は過年度のT社の設備投資のために寄付されたもの。
- (3) T社有価証券報告書記載の通り、T社はK社に対してT社固定資産に根抵当権を設定して担保提供しているが、その根抵当を基に、K社の個人株主からの借入に対して、転根抵当権を設定している。

2 K社の第三者割当増資のT社引受

- (1) K社の実質純資産は債権約1億8,000万円、負債3,500万円で純資産1億4,500万円。
発効済株式10,000株。1株あたり純資産は14,500円
- (2) 本件は、T社がK社の株式を2,300株、 $2,300株 \times 14,500円/株 = 33,350,000円$ の増資引受を行い、K社の債権者への返済を行うことで転根抵当権解除を行うもの。
- (3) 引受後のK社の発行済株式は12,300株。T社保有比率は18.6%であり関連会社にはあたらない。

株式会社コジロー株式発行要項

(1) 払込期日	2025年9月30日
(2) 発行新株式数	2,300株
(3) 発行価額	1株につき14,500円
(4) 発行価額の総額	33,350,000円
(5) 資本組入額	1株につき7,250円
(6) 資本組入額の総額	16,675,000円
(7) 割当予定先	第三者割当により株式会社高滝リンクス倶楽部へ割当